平成 15 年 8 月 5 日

Ｆ社の総合技術展に参加して

東京国際フォーラムで開催されたＦ社の総合技術展に参加した。まず、冒頭に社長の次のような挨拶があった。

1. 創業 80 周年を記念して技術展を開催した。
2. 創業以来一貫して、省資源、省エネルギー、高効率を求めて新製品を開発してきた。
3. 今後も分社化など組織の効率向上を行いながら人類の幸せのために努力してゆきたい。

80 年も前から有限な資源を大切にしながら生活向上のために役立つ製品開発を行うという会社方針を貫いてこられたことに脱帽した。

続いて、武蔵工業大学教授、電気学会会長の深尾　正氏の特別講演を拝聴した。題名は「パワーエレクトロニクスとエネルギーマネージメント」であった。

1. 電力・エネルギーを取り巻く環境
2. 新技術とエネルギーマネージメント
3. パワーエレクトロニクス技術への期待

について要領よく概説された。特に印象に残ったのは自動車のエネルギー消費の大きさであった。全世界に普通サイズの自動車は 5 億台あり、全部が燃料電池自動車になったら全世界の総発電量の 10 倍の発電量が必要である。日本人は年間約 9000ＫWH/人の電力を消費しているが、これは約 1ＫW/人の発電容量に相当する。一方、燃料電池車に搭載される燃料電池の容量は 40ＫWといわれており、家族 4 人の標準家庭の必要電気容量 4ＫWの約 10 倍となっており、自動車のエネルギー消費がいかに大きいかが判る。

最後に、次のように締めくくられた。

1. 21 世紀はエネルギーと環境の世紀である。クリーンで制御の容易な電気エネルギーの重要性はますます高まる。
2. 電気エネルギーの発生から消費まで、パワーエレクトロニクスは基盤になる技術である。
3. 環境・エネルギー問題の解決、国際貢献、新規産業の創出・雇用の促進に大いに期待したい。

展示会場には、環境とエネルギー、電子デバイス、コンポーネントとシステム、リテイルシステムに分けて新製品の紹介があった。

新技術の触れた有意義な一日であった。